



三菱UFJリース

2014年3月期決算概要

決算発表日：2014年5月14日

- お問い合わせ先
広報IR部
TEL 03-6865-3002 FAX 03-6895-5306
- 当社ホームページアドレス
<http://www.lf.mufg.jp/>（日本語）
<http://www.lf.mufg.jp/english/>（英語）

※本資料には現時点での将来予測数値が含まれますが、将来の様々な要因により変動することがありますので、ご注意ください

Value Integrator

1.	2014年3月期決算概要	3
2.	連結決算主要項目の推移	4
	(1) 損益計算書 関連項目	4
	(2) 貸借対照表 関連項目	6
3.	資金調達の状況	8
4.	貸倒関連費用等	9
5.	国内主要連結構成会社の決算概要	10
6.	営業状況(契約実行高)	12
	取引種類別内訳、取引種類別構成比	12
	国内外契約実行高の推移	12
	リース契約実行高の増減推移	12
	機種別(リース・割賦)、取引形態別(金融・その他)内訳	13
7.	営業の取組み	14
	1) 国際・グローバルアセット	14
	2) オペレーティングリース	14
	3) 中古機器売買	15
	4) e-Leasing Direct (資産管理サービス)	15
	5) オートリース	15
	6) 環境・エネルギー関連サービス	16
	7) 不動産関連ファイナンス (不動産関連サービス)	17
	8) シンフォニー (不動産関連サービス)	17
	9) PFI事業	18
	10) 医療・介護関連	18
	11) ファクタリング	18
8.	2015年3月期業績予想	19
9.	中期経営計画“Evolution(限りなき進化)”	20

1. 2014年3月期 決算概要

(金額単位:億円)

	2014/3期	前期比 (増減率)	2013/3期
売上高	7,177	+2.8%	6,981
売上総利益	1,286	+9.0%	1,180
営業利益	652	+8.8%	599
経常利益	698	+10.9%	629
純利益	376	+4.5%	360
契約実行高	15,618	+15.2%	13,562

(金額単位:億円)

	2014/3期	前期末比 (増減率)	2013/3期
純資産	5,342	+14.1%	4,680
総資産	44,975	+7.7%	41,777

当連結会計年度は、政府の経済政策や金融政策を背景に、国内経済に持ち直しの兆しが見られたものの、世界経済の成長を牽引してきた新興国においては成長が鈍化するなど、全体では依然として先行き不透明な状況が続きました。

こうした中、当社グループでは、環境の変化に迅速かつ柔軟に対応しつつ、多様化・高度化するお客様ニーズにお応えする総合ファイナンスカンパニーとして持続的な成長を遂げるべく、2014年3月期を最終年度とする中期経営計画「**Vision2013**」で掲げた各種戦略・施策を着実に実行に移してまいりました。

その結果、損益面では、売上総利益は前期比9.0%増加の1,286億円、営業利益は前期比8.8%増加の652億円、経常利益は前期比10.9%増加の698億円、純利益は前期比4.5%増加の376億円となり、各利益段階で過去最高益を更新いたしました。純利益につきましては、3期連続での最高益更新となります。

営業面では、当期の契約実行高は、様々な付加価値型商品サービスの提供を通じ、国内外の設備投資ニーズなどに積極的に対応した結果、前期比15.2%増加の1兆5,618億円となりました。

純資産は純利益の積上げなどにより前期末比14.1%増加の5,342億円、総資産は、前期末比7.7%増加の4兆4,975億円となりました。

2. 連結決算主要項目の推移

(1) 損益計算書 関連項目

(金額単位：百万円)

	連結				
	2010/3期	2011/3期	2012/3期	2013/3期	2014/3期
	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度
1 売上高	747,043	724,762	724,611	698,155	717,760
	-8.7%	-3.0%	-0.0%	-3.7%	+2.8%
2 賃貸料収入	558,615	560,610	562,878	546,625	579,753
	-9.0%	+0.4%	+0.4%	-2.9%	+6.1%
3 割賦売上高	122,615	99,414	92,533	85,021	83,270
	-12.5%	-18.9%	-6.9%	-8.1%	-2.1%
4 営業貸付収入	39,048	36,802	35,611	35,592	35,068
	+1.7%	-5.8%	-3.2%	-0.1%	-1.5%
5 その他の売上高	26,764	27,935	33,587	30,914	19,667
	+1.6%	+4.4%	+20.2%	-8.0%	-36.4%
6 売上原価	637,474	606,033	609,533	580,121	589,086
	-10.7%	-4.9%	+0.6%	-4.8%	+1.5%
7 売上原価 / 売上高 (売上高売上原価率)	85.3%	83.6%	84.1%	83.1%	82.1%
	-1.9P	-1.7P	+0.5P	-1.0P	-1.0P
8 賃貸原価	484,581	479,725	484,374	469,173	477,271
	-10.2%	-1.0%	+1.0%	-3.1%	+1.7%
9 割賦原価	112,819	90,628	84,026	77,183	75,866
	-13.1%	-19.7%	-7.3%	-8.1%	-1.7%
10 資金原価	26,916	20,502	17,986	17,948	25,887
	-22.1%	-23.8%	-12.3%	-0.2%	+44.2%
11 その他の売上原価	13,157	15,177	23,146	15,816	10,061
	+29.5%	+15.4%	+52.5%	-31.7%	-36.4%
12 売上総利益	109,569	118,729	115,078	118,033	128,673
	+4.6%	+8.4%	-3.1%	+2.6%	+9.0%
13 売上総利益 / 売上高 (売上高売上総利益率)	14.7%	16.4%	15.9%	16.9%	17.9%
	+1.9P	+1.7P	-0.5P	+1.0P	+1.0P
14 従業員数	2,219	2,245	2,275	2,402	2,511
15 一人当たり売上総利益	49.3	52.9	50.6	49.1	51.2
	+0.0%	+7.3%	-4.4%	-2.9%	+4.3%
16 販売費及び一般管理費	83,755	62,846	61,921	58,045	63,395
	+7.6%	-25.0%	-1.5%	-6.3%	+9.2%
17 人件費	21,478	22,178	22,992	23,837	26,499
	+0.2%	+3.3%	+3.7%	+3.7%	+11.2%
18 物件費	23,193	24,221	25,207	26,155	30,157
	-5.7%	+4.4%	+4.1%	+3.8%	+15.3%
19 貸倒関連費用 (一般貸倒引当金を含む)	39,083	16,447	13,721	8,052	6,738
	+22.9%	-57.9%	-16.6%	-41.3%	-16.3%
20 OHR	40.8%	39.1%	41.9%	42.4%	44.0%
	-3.2P	-1.7P	+2.8P	+0.5P	+1.7P
21 営業利益	25,813	55,882	53,156	59,987	65,278
	-4.0%	+116.5%	-4.9%	+12.8%	+8.8%
22 営業利益 / 売上高 (売上高営業利益率)	3.5%	7.7%	7.3%	8.6%	9.1%
	+0.2P	+4.2P	-0.4P	+1.3P	+0.5P
23 経常利益	25,821	56,307	55,878	62,983	69,821
	-1.8%	+118.1%	-0.8%	+12.7%	+10.9%
24 特別利益	14,150	3,673	6,585	258	85
	+648.3%	-74.0%	+79.3%	-96.1%	-66.7%
25 特別損失	1,827	13,730	414	776	3,011
	-83.2%	+651.4%	-97.0%	+87.3%	+287.6%
26 純利益	20,727	25,755	34,640	36,038	37,675
	+190.1%	+24.3%	+34.5%	+4.0%	+4.5%

※下段の%、P(ポイント)は前期比を掲載

1. その他の売上高について(5行目)

主に物件販売による収入、有価証券の収入、各種手数料収入などが含まれています。

2. その他の売上原価について(11行目)

物件販売における仕入コストや各種支払手数料などが含まれています。

3. 貸倒関連費用(19行目)

(金額単位:億円)

	個別引当金	一般引当金	合計
単体	74	-23	51
連結子会社等	20	-4	16
合計	94	-27	67

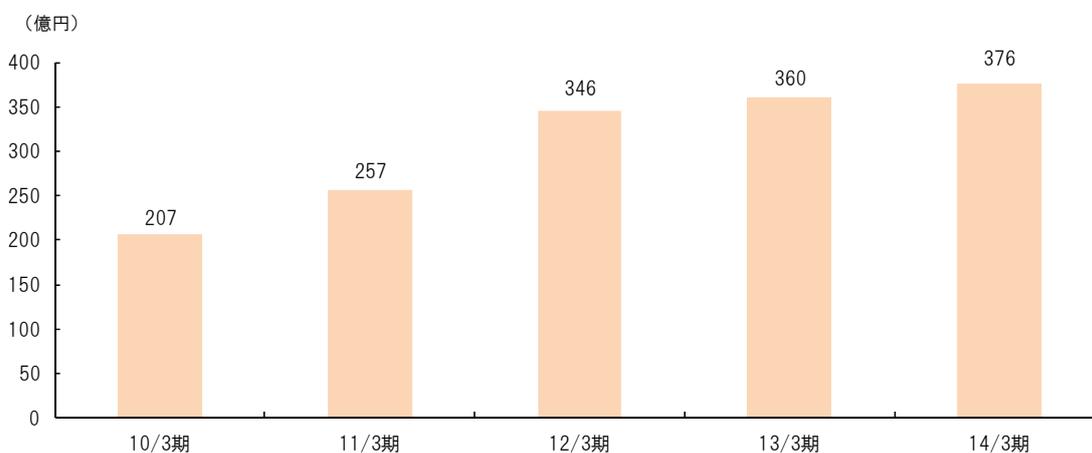
4. 特別利益(24行目)

投資有価証券売却益として約 85 百万円計上しています。

5. 特別損失(25行目)

社有不動産の減損処理により約 30 億円を特別損失として計上しています。

6. 純利益の推移(26行目)



7. グループ会社数

当期末時点における連結子会社数、持分法適用会社数は以下の通りです。

連結子会社数	持分法適用会社数
216	9

(2) 貸借対照表 関連項目

(金額単位:百万円)

		連結				
		2010/3期 10/3末	2011/3期 11/3末	2012/3期 12/3末	2013/3期 13/3末	2014/3期 14/3末
1	純資産合計	366,891 +7.1%	389,802 +6.2%	420,864 +8.0%	468,061 +11.2%	534,250 +14.1%
2	総資産額	3,885,161 -0.6%	3,721,136 -4.2%	3,682,299 -1.0%	4,177,784 +13.5%	4,497,502 +7.7%
3	営業資産残高	3,517,982 +0.6%	3,393,547 -3.5%	3,335,620 -1.7%	3,713,972 +11.3%	4,017,419 +8.2%
4	内貸貸事業	1,677,155 +7.1%	1,673,572 -0.2%	1,667,454 -0.4%	2,053,955 +23.2%	2,357,220 +14.8%
5	内割賦販売事業	297,051 -19.4%	242,147 -18.5%	222,433 -8.1%	216,700 -2.6%	227,318 +4.9%
6	内貸付事業	1,222,770 -0.4%	1,174,661 -3.9%	1,193,607 +1.6%	1,256,032 +5.2%	1,288,819 +2.6%
7	内その他の事業	321,005 -4.3%	303,167 -5.6%	252,124 -16.8%	187,285 -25.7%	144,061 -23.1%
8	破産更生債権等	46,351 -3.4%	40,921 -11.7%	49,451 +20.8%	46,066 -6.8%	33,223 -27.9%
9	貸倒引当金	8,487	9,335	15,533	15,921	12,494
10	ネット破産更生債権等	37,863 -14.5%	31,586 -16.6%	33,918 +7.4%	30,145 -11.1%	20,729 -31.2%
11	自己資本比率	9.1% +0.7P	10.0% +0.9P	10.9% +0.9P	10.7% -0.2P	11.4% +0.7P
12	ROE…株主資本純利益率	6.1% +3.8P	7.1% +1.0P	8.9% +1.8P	8.5% -0.4P	7.9% -0.6P
13	ROA…総資産純利益率	0.5% +0.3P	0.7% +0.2P	0.9% +0.2P	0.9% -0.0P	0.9% -0.0P
14	有利子負債	3,148,926 -1.3%	2,961,470 -6.0%	2,893,504 -2.3%	3,315,294 +14.6%	3,484,480 +5.1%
15	間接調達	1,740,993 -5.5%	1,614,526 -7.3%	1,631,959 +1.1%	1,892,132 +15.9%	1,952,985 +3.2%
16	直接調達	1,407,932 +4.4%	1,346,944 -4.3%	1,261,545 -6.3%	1,423,162 +12.8%	1,531,494 +7.6%
17	内CP	872,400 -2.3%	866,000 -0.7%	719,300 -16.9%	806,200 +12.1%	762,300 -5.4%
18	内リース債権流動化	152,256 -6.6%	101,944 -33.0%	104,215 +2.2%	139,644 +34.0%	164,413 +17.7%
19	内社債	383,276 +31.1%	379,000 -1.1%	438,030 +15.6%	477,317 +9.0%	604,781 +26.7%
20	直接調達比率	44.7% +2.4P	45.5% +0.8P	43.6% -1.9P	42.9% -0.7P	44.0% +1.1P

※下段の%、P(ポイント)は前期末比を掲載

1. 内貸貸事業について(4行目)

流動資産の「リース債権およびリース投資資産」と有形固定資産及び無形固定資産の「貸貸資産」の合計を表示しています。

2. 内割賦販売事業(5行目)

割賦債権から割賦未実現利益を控除した額を表示しています。

3. 内貸付事業の内訳(6行目)

(金額単位:億円)

	営業貸付金			その他営業 貸付金 ^{※3}	合計
	一般貸付金	リースみなし 取引等 ^{※1}	子会社宛 貸付金 ^{※2}		
2010/3期末	9,725	1,643	96	763	12,227
2011/3期末	9,361	1,630	94	660	11,746
2012/3期末	9,541	1,586	116	692	11,936
2013/3期末	10,028	1,694	87	750	12,560
2014/3期末	9,927	2,043	111	807	12,888

※1:リースみなし取引とは、お客様の間ではリース契約取引ですが、会計上は貸付金として処理している取引です。

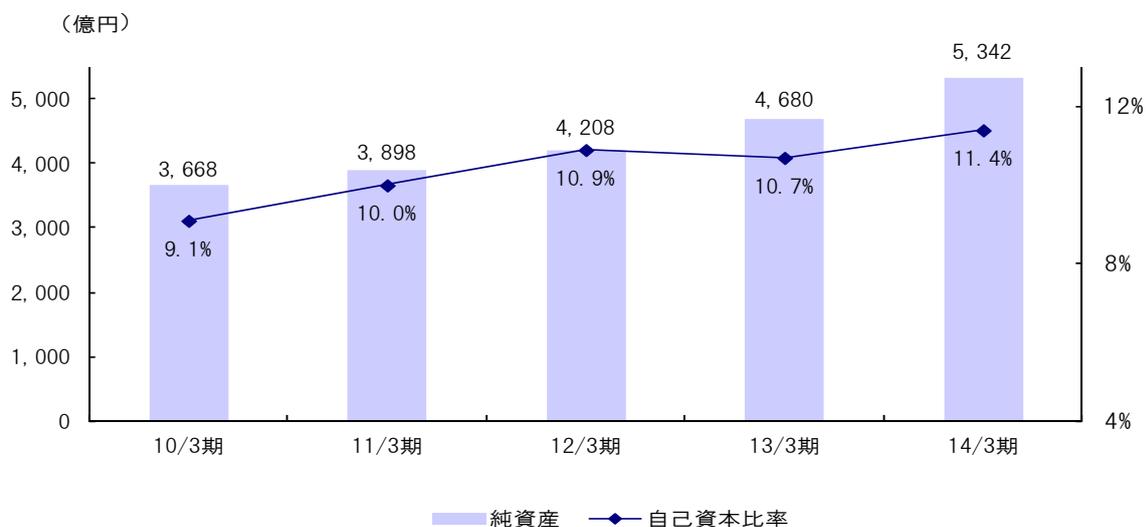
※2:主に非連結子会社向け貸付金です。

※3:主にファクタリング債権です。

4. 内その他の事業(7行目)

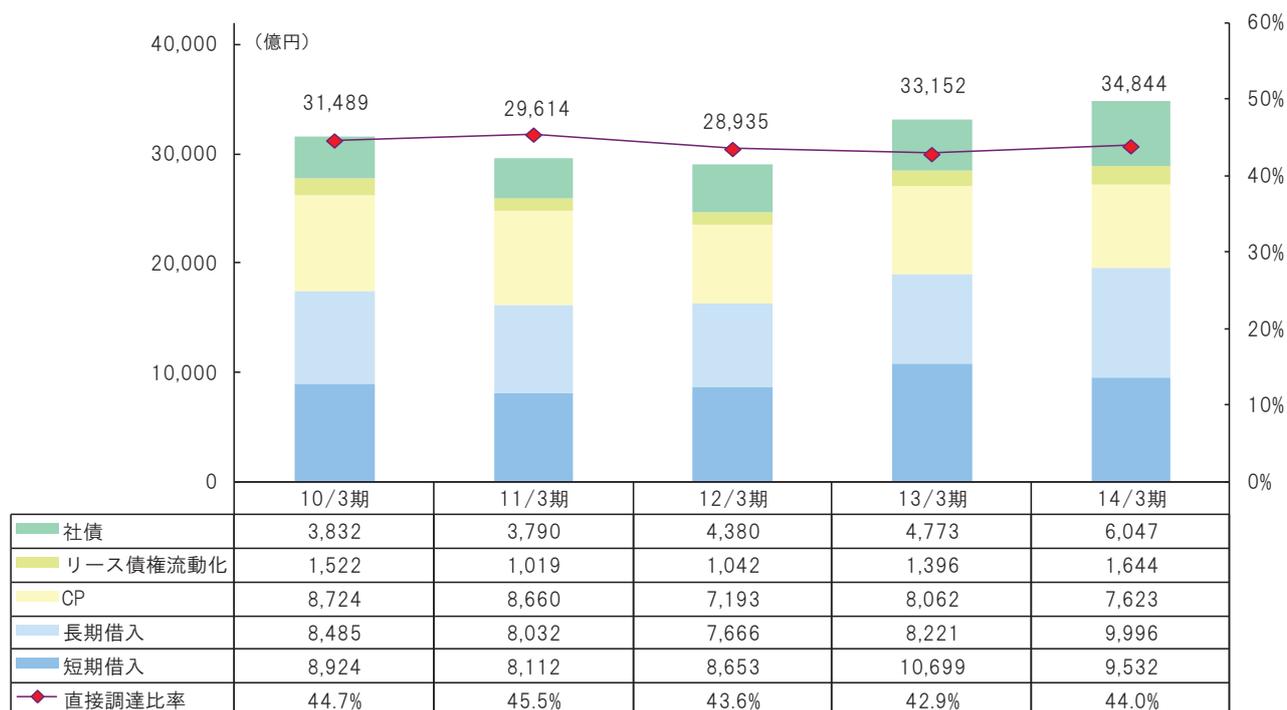
営業有価証券、営業出資金などが含まれています。

5. 純資産と自己資本比率の推移(1行、11行目)



3. 資金調達状況

(1) 調達構造



連結ベースの有利子負債残高は3兆4,844億円となり、前期末比1,692億円増加いたしました。金利変動リスクに対しては、主に金利スワップによるヘッジオペレーションを行っています。当期末の金利スワップ(円貨及び外貨)の想定元本(固定化スワップ)は5,957億円です。

(2) 社債の発行状況

① 国内普通社債の発行状況

2014年3月期に発行した国内普通社債

発行時期	金額	期間	利率	スプレッド	
				スワップ比	国債比
2013年6月	200億円	5年	0.498%	-7.3bp	+15.0bp
2013年8月	200億円	3年	0.278%	-8.3bp	+13.0bp
2013年11月	300億円	4年	0.313%	-2.4bp	+16.0bp
2013年11月	100億円	6年	0.441%	-3.5bp	+20.0bp
2014年2月	100億円	7年	0.508%	-5.2bp	+17.0bp

※「スワップ比」は、発行した社債の期間に対応するスワップレートと社債利率の差を表示。

② 外貨建て社債発行状況

2014年3月期に発行した外貨建て社債

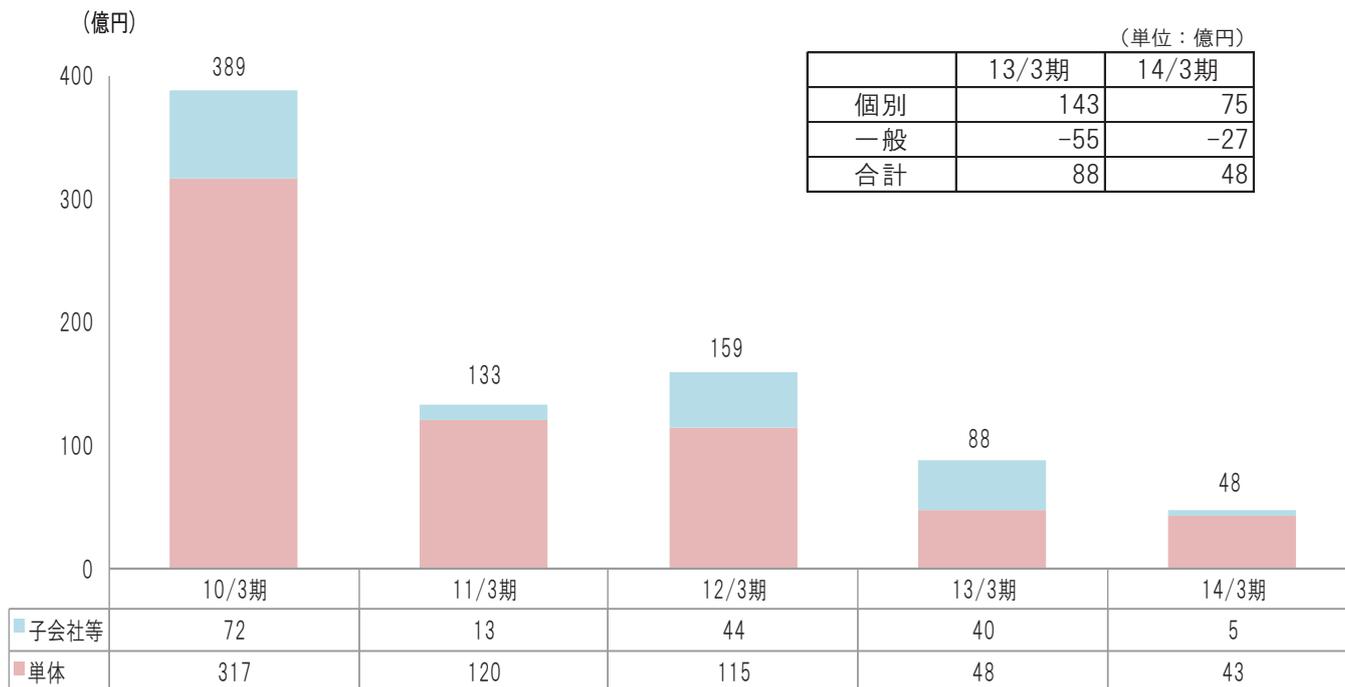
発行時期	金額	期間	利率	スプレッド
2013年10月	5億米ドル	3年	1.875%	米国債比+130bp
2014年2月	3億米ドル	5年	変動金利	3ヶ月米ドルLibor+92.5bp
2014年2月	5億人民元	3年	3.280%	-

(3) 外部格付について(2014年5月14日時点)

格付機関	長期	短期
JCR (日本格付研究所)	AA-	J-1+
R&I (格付投資情報センター)	A+	a-1
Moody's	A3	-
S&P	A	-

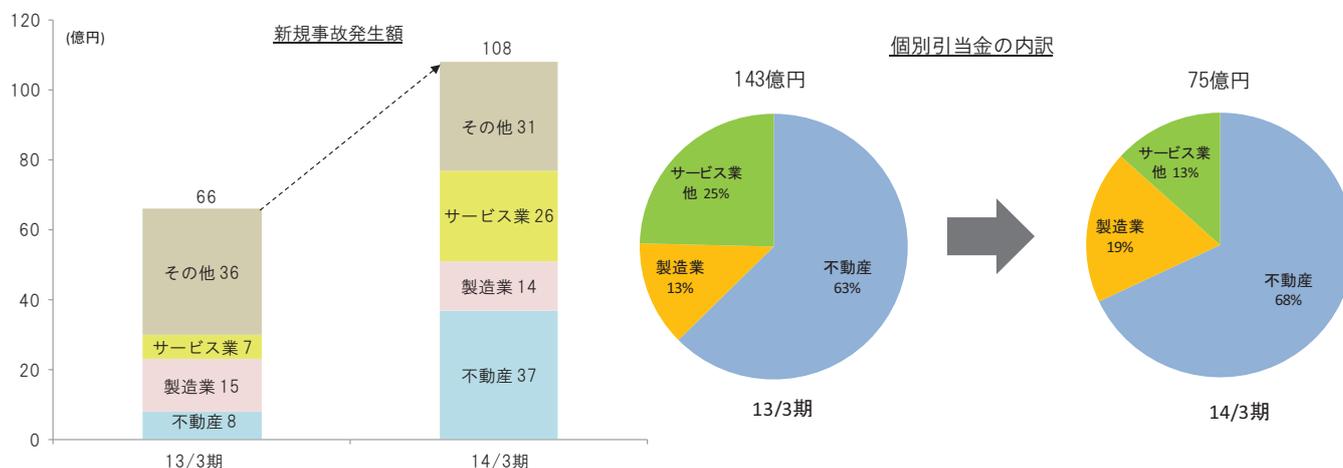
4. 貸倒関連費用等

(1) 総貸倒関連費用の推移

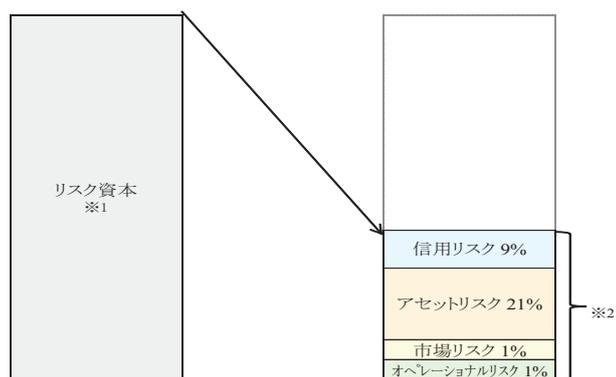


上記金額は、連結ベースの総貸倒関連費用です。当該金額には、売上原価処理分、販売費および一般管理費計上分、営業外損益、特別損益計上分が含まれています。

(2) 新規事故発生額と個別引当金の前期比較(業種別)



(3) 統合リスク管理



※1 リスク資本：(株主資本+その他の包括利益累計額) - のれん
 ※2 リスク資本に対する各リスク量の比率

様々なリスクを計量化することにより、統合的なリスク管理を行っています。左表は、2014年3月末時点の各種リスクについて、最大損失額をVaR(Value at Risk)等で算出したリスク量です。信用・市場・オペレーショナルなどのリスクに留まらず、アセットリスクまで算出するなど、厳格なリスクマネジメントを行っています。

5. 国内主要連結構成会社の決算概要

金額単位:百万円

損益項目	三菱UFJリース(MUL) (単体)		日医リース(日医) MUL持分割合:100%		デー・エフ・エル・リース(DFL) MUL持分割合:95%	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
売上高	456,827	-1.4%	35,636	-0.7%	17,279	-2.7%
売上総利益	66,460	-4.2%	3,469	-5.6%	1,722	-12.6%
営業利益	29,668	-15.4%	1,516	-17.2%	1,067	-15.9%
経常利益	32,524	-7.1%	1,555	-22.7%	1,104	-16.3%
純利益	17,001	-12.1%	938	-23.4%	689	-23.0%

資産項目	金額	前期末比	金額	前期末比	金額	前期末比
営業資産	2,809,293	+3.9%	102,215	+12.4%	49,144	+10.0%
総資産	3,310,497	+4.5%	105,954	+13.2%	50,661	+9.9%
純資産	389,609	+4.1%	12,473	+8.1%	9,692	+7.7%

金額単位:百万円

損益項目	神鋼リース(神鋼) MUL持分割合:80%		カシオリース(CL) MUL持分割合:80%		ひろぎんリース(HL) MUL持分割合:80%	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
売上高	24,873	-0.5%	10,932	-9.7%	17,338	-9.9%
売上総利益	2,025	-13.4%	1,184	-15.4%	2,015	-7.2%
営業利益	661	-31.8%	418	-42.1%	1,261	-14.4%
経常利益	710	-29.9%	474	-38.5%	1,533	-1.2%
純利益	423	-31.0%	294	-37.7%	1,019	+9.3%

資産項目	金額	前期末比	金額	前期末比	金額	前期末比
営業資産	107,208	+2.0%	31,104	+14.2%	56,740	+7.3%
総資産	111,479	+2.1%	32,357	+14.8%	59,341	+6.0%
純資産	7,209	+6.5%	11,381	+2.7%	10,050	+11.2%

金額単位:百万円

損益項目	首都圏リース (首都圏) MUL持分割合:76%		中京総合リース (中京) MUL持分割合:70%		MMCダイヤモンド・ファイナンス (MDF) MUL持分割合:50%	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
売上高	25,934	+4.1%	6,845	-7.6%	21,394	+5.5%
売上総利益	3,459	+1.1%	726	-9.5%	9,695	+7.8%
営業利益	1,367	-12.9%	391	-27.8%	3,187	+21.7%
経常利益	1,637	-3.9%	440	-26.7%	3,573	+20.0%
純利益	994	-5.9%	261	-28.6%	2,147	+22.4%

資産項目	金額	前期末比	金額	前期末比	金額	前期末比
営業資産	107,675	+9.3%	19,329	-1.0%	271,982	+6.0%
総資産	111,029	+9.0%	20,437	-1.5%	297,717	+6.5%
純資産	12,015	+8.9%	5,331	+5.1%	16,684	+14.8%

金額単位:百万円

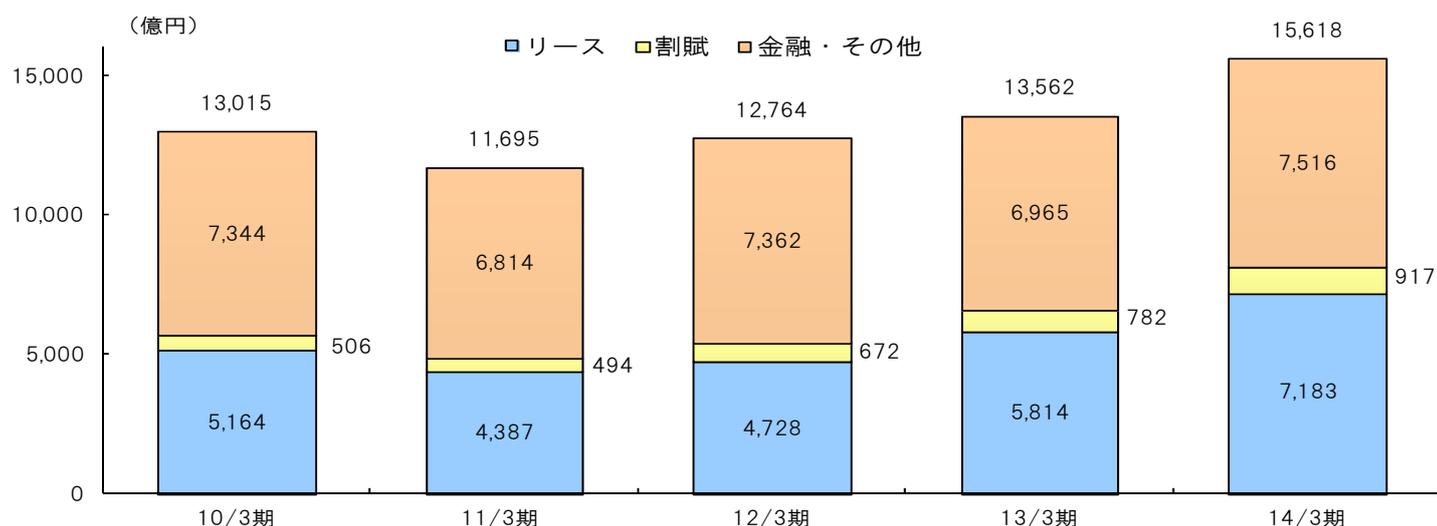
損益項目	ダイヤモンド・レンタルシステム (DRS) MUL持分割合:100%		ダイヤモンド・アセットファイナンス (DAF) MUL持分割合:100%		御幸ビルディング (御幸ビル) MUL持分割合:98%	
	金額	前期比	金額	前期比	金額	前期比
売上高	25,800	+5.7%	7,522	-60.4%	6,394	+1.3%
売上総利益	2,092	-10.0%	4,315	-8.7%	3,050	-10.5%
営業利益	547	-27.6%	2,681	+12.1%	2,549	-12.4%
経常利益	545	-27.9%	3,074	+21.7%	1,980	-15.7%
純利益	332	-28.7%	2,553	+0.8%	1,194	-14.3%

資産項目	金額	前期末比	金額	前期末比	金額	前期末比
営業資産	67,433	+18.7%	191,145	+4.6%	60,072	+0.2%
総資産	69,877	+18.2%	194,466	+3.2%	64,178	+2.2%
純資産	4,845	+7.4%	21,488	+13.5%	21,509	+5.7%

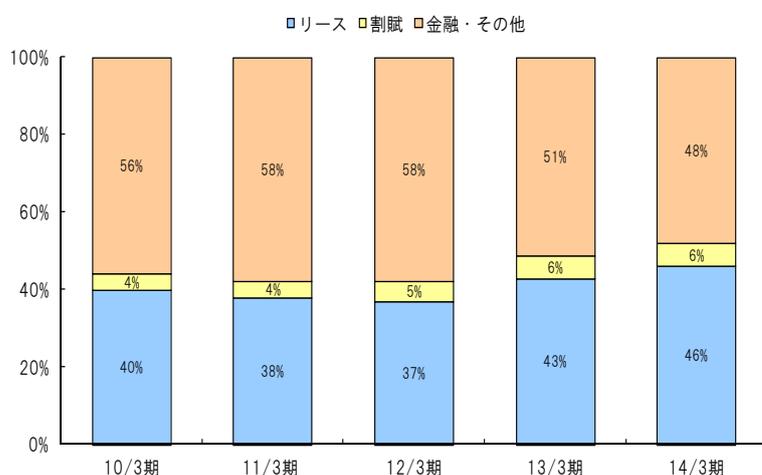
6. 営業状況(契約実行高)

2014年3月期における契約実行高は、前期比15.2%増加の1兆5,618億円となりました。取引種類別の内訳は、リース取引が前期比23.5%増加、割賦取引が前期比17.2%増加、金融・その他取引が前期比7.9%増加となりました。取引種類別構成比は、リース46%、割賦6%、金融・その他48%となっております。

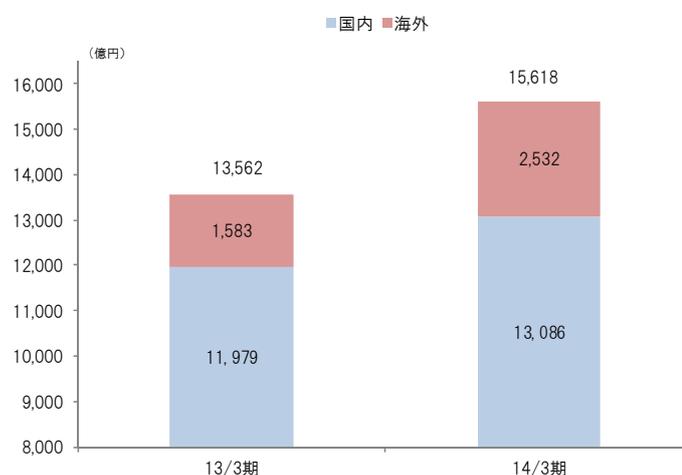
取引種類別契約実行高(元本ベース)の推移



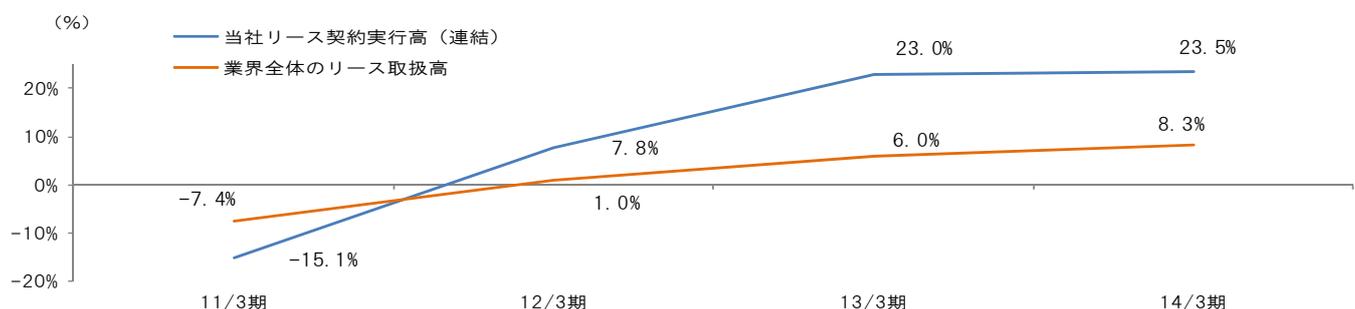
取引種類別契約実行高の構成比



国内外契約実行高の推移



当社のリース契約実行高(連結)と業界全体のリース取扱高(リース事業協会公表)の増減推移



※14/3期の業界全体の数値は公益社団法人リース事業協会が2014年4月28日に公表したリース統計(速報値)を掲載

リース契約実行高 機種別内訳

(単位:億円)

	2013/3期	2014/3期	前期比
情報関連・事務用機器	1,317	1,497	+13.7%
産業・工作機械	1,242	1,233	-0.7%
土木建設機械	316	430	+36.0%
輸送用機器	767	1,668	+117.4%
医療機器	477	553	+15.9%
商業用およびサービス機器	667	768	+15.1%
その他	1,026	1,032	+0.6%
合計	5,814	7,183	+23.5%

割賦契約実行高 機種別内訳

(単位:億円)

	2013/3期	2014/3期	前期比
情報関連・事務用機器	29	59	+105.0%
産業・工作機械	80	115	+42.9%
土木建設機械	193	261	+35.0%
輸送用機器	38	42	+10.1%
医療機器	82	71	-13.0%
商業用およびサービス機器	197	195	-0.8%
その他	161	171	+6.4%
合計	782	917	+17.2%

金融・その他契約実行高

(単位:億円)

	2013/3期	2014/3期	前期比
ファクタリング	2,325	2,038	-12.3%
不動産関連	1,602	1,381	-13.8%
その他融資等	3,037	4,096	+34.9%
合計	6,965	7,516	+7.9%

契約実行高 合計(リース、割賦、金融・その他)

(単位:億円)

	2013/3期	2014/3期	前期比
合計	13,562	15,618	+15.2%

7. 営業の取組み

1) 国際・グローバルアセット

リースをはじめとするファイナンスサービスから、資産管理や環境・省エネサポートに至るまで、お客様の海外事業展開を積極的にサポートしています。また、航空機、航空機エンジン、コンテナ、貨車など、汎用性・市場性の高いグローバルアセットの取組みを推進しております。

海外営業資産残高の推移

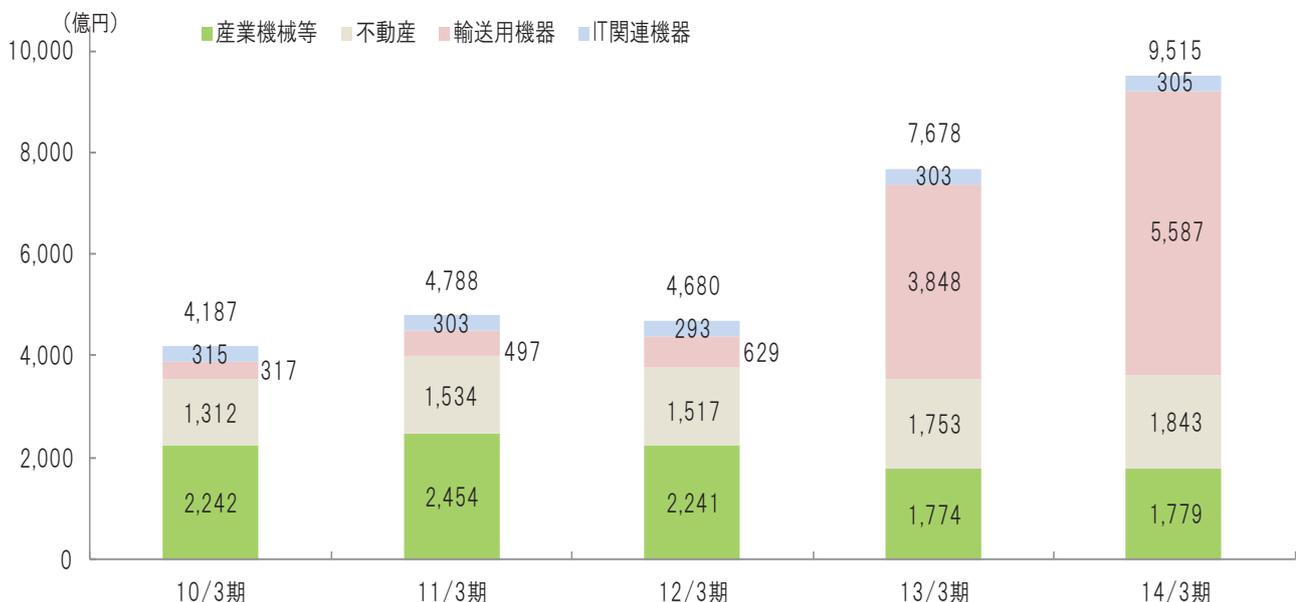


※海外営業資産比率は、連結営業資産残高に占める海外連結子会社の営業資産残高の割合。

2) オペレーティングリース

物件価値に着目し、リース期間満了後の残価を設定しリース料を算定するオペレーティングリース取引では、産業工作機械や輸送用機器、PCレンタル等、幅広い物件を取り扱っています。オペレーティングリースは、お客様のご希望に応じたリース期間の設定が可能のため、生産スケジュールに応じた機動的な設備導入が可能です。当社は業界で早くからオペレーティングリースを展開し、サービスの向上を図っております。

オペレーティングリース残高推移



3) 中古機器売買

リースビジネスで培った経験とノウハウを活用して、半導体製造設備や、工作機械、医療機器、情報関連機器など、多種多様な中古機器の売買事業を展開しています。タイムリーに設備を導入したい、安全な中古機器を導入したい、というお客様のニーズにお応えしています。

三菱UFJリースのグループネットワーク

<p>ユーマシン</p> 	<p>年間4.5千台以上の機器を取り扱う中古工作機械・産業機械の専門商社。2012年にはタイ現法を設立、国内外の5ヶ所に専用倉庫を構え、きめ細かなサービスを提供しております。</p>	<p>エム・キャスト</p> 	<p>中古医療機器の販売・買取を行う業界トップクラスの専門商社。業界で初めてISO 9001を取得するなど、徹底した品質管理を行い、安全性の高い中古医療機器を提供しています。</p>
<p>MUL エコビジネス</p> 	<p>リースアップしたPCやOA機器など年間約30万台を仕入れ、データ消去などの情報漏洩対策を施した上で、リユース・リサイクルを行っています。</p>	<p>グローバル・アセット・ソリューション</p> 	<p>工場の不要となったライン一式などの大規模設備や、用途に応じてカスタマイズされた機器などを対象とした仕入・販売をグローバルに手がけています。</p>

4) e-Leasing Direct (資産管理サービス)

当社独自の資産管理サービス「**e-Leasing Direct**」では、契約から満了までの一連の手続きをWeb上で行うことができ、リース会計基準に対応した会計関連情報を迅速かつ無償でお客様にご提供いたします。お客様が使用されている資産データと、リース契約情報を紐付けることができますので、資産管理やコスト把握にもご活用頂けます。さらに、お客様が社内で行うリース契約手続きにおいて、**e-Leasing Direct** が持つ電子承認機能をご活用頂くことで、内部統制管理の強化にもお役立て頂けます。

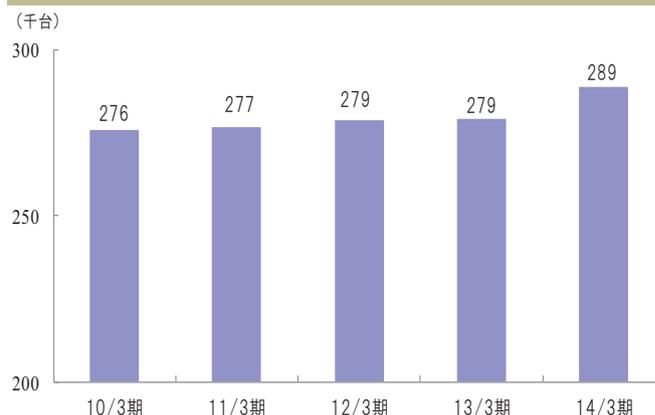
e-Leasing Direct の残高推移



5) オートリース

オートリース事業を行う三菱オートリース(三菱UFJリース50%、三菱商事50%出資)、オートクレジット事業を行うMMCダイヤモンドファイナンス(三菱UFJリース50%、三菱自動車工業47%出資)をグループ会社に擁し、オートファイナンス分野において一層のサービス向上・強化を図っています。また、国内のみならず、タイやインドネシアなど海外でもオートリースサービスを積極的に展開しています。2014年3月末時点のグループ全体の車両管理台数は約289千台です。

車両管理台数の推移

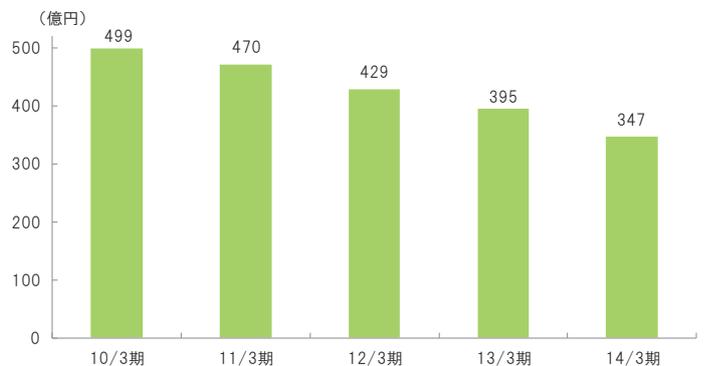


6) 環境・エネルギー関連サービス

① ESCO (Energy Service Company) 事業

ビルや工場、ホテル、病院などの施設に対して、省エネルギー化のプランニング、改修工事、ファイナンス提供、エネルギー削減の効果保証などパッケージでサポートするESCO事業において、当社は豊富な実績とノウハウにより、お客様に合ったサービスを提供しています。これまでの取扱件数は累計で430件と、全てのESCO事業者の中でもトップクラスの実績となっています。

ESCOの残高推移



② 排出権関連サービス

地球温暖化問題へのソリューションとして、リースする物件に排出権を割当て、リース物件から生ずるCO2を相殺する「カーボンナチュラルリース」や、お客様に代わって、排出権の購入から償却に至るまでの手続きを受託する「オフセットパートナーサービス」など排出権関連サービスをご提供しております。

また、省エネ設備の導入によるCO2排出削減分から排出権を創出するサービスを行うなど、排出権に関する幅広いサービスをご提供しております。

導入事例



フォークリフト



スポーツイベント



商品カタログ

③ 環境ファイナンス

廃棄物処理施設や風力・太陽光等の発電設備の建設に際して、事業の収益性や安定性に重点をおいた「事業性担保融資」などを活用し、従来の融資手法では実現の難しかった投資や、中～大規模のプロジェクトファイナンス案件まで幅広いニーズに対応しております。

太陽光発電を中心とする再生可能エネルギー分野については、単なるファイナンス機能の提供に留まらず、自ら事業者として発電事業に携わる取組みにも積極的に参画しております。

【TOPICS】

三菱マテリアルとの太陽光発電プロジェクトの営業運転開始

三菱マテリアルグループが日本国内に有する社有地を活用した太陽光発電プロジェクトが2013年12月より順次営業運転を開始しています。

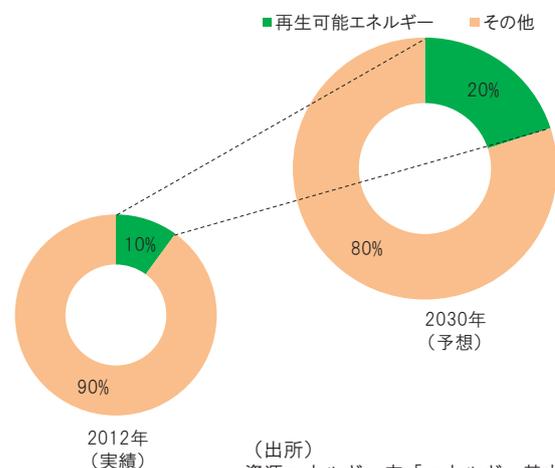


(上) 真壁太陽光発電所



(右) 福井太陽光発電所

総電力量に占める再生可能エネルギーの比率

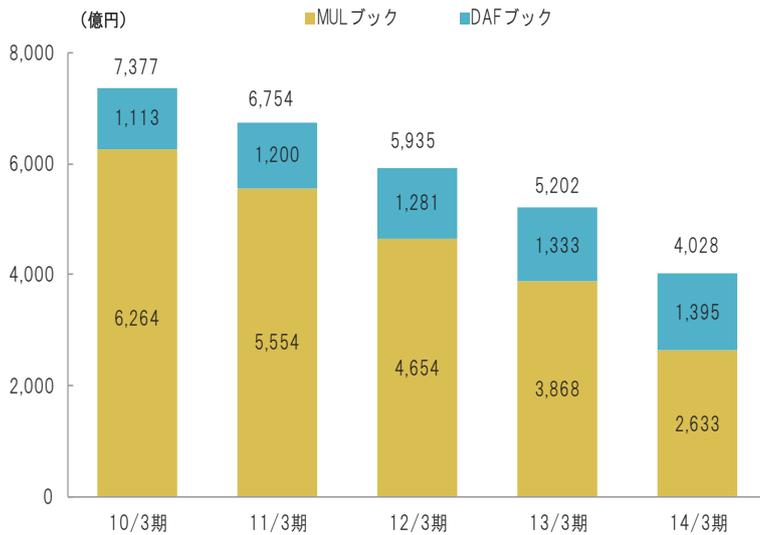


(出所)
資源エネルギー庁「エネルギー基本計画」、
「2030年のエネルギー需給の姿」、電気
事業連合会「2012年度の電源別発電電
力量構成比」を参考に当社が作成。

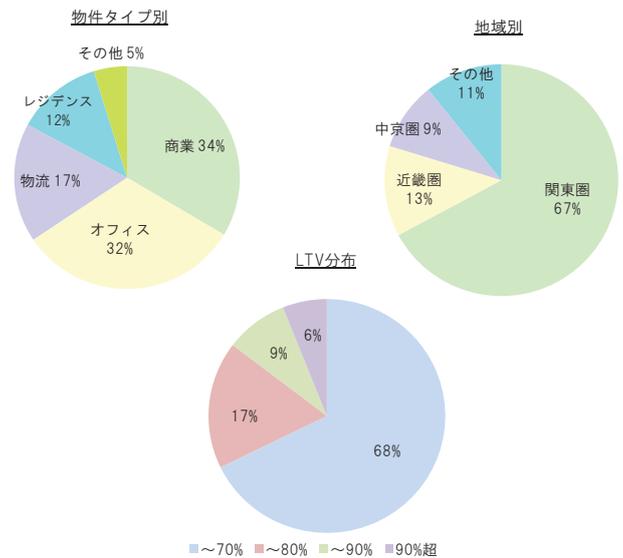
7) 不動産関連ファイナンス(不動産関連サービス)

主に商業用、物流用、オフィス用を対象とした不動産関連ファイナンスでは、対象不動産からの収益力を評価して実行するノンリコースローンを中心に様々な案件を取組んでいます。不動産のノンリコースローンでは、厳格なリスク管理の下、主として信用力の高い大手不動産会社等が組成する案件を選別して取組んでいます。また、グループ会社のダイヤモンドアセットファイナンス(DAF)では、プロジェクトファイナンスやオーナーローンを取り扱うなど不動産関連におけるお客様の様々なニーズにお応えしています。

不動産関連ファイナンスの残高推移



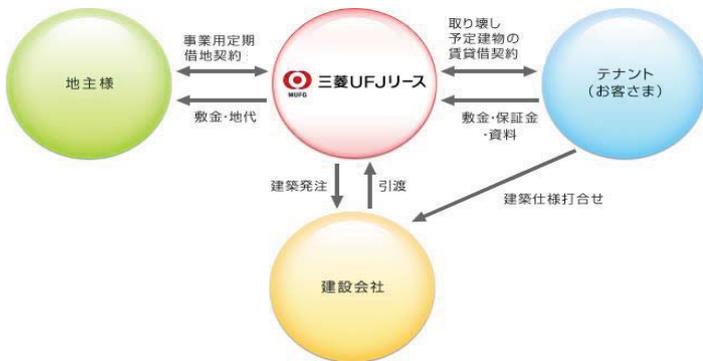
MULブック案件内訳とLTV分布(2014年3月末時点)



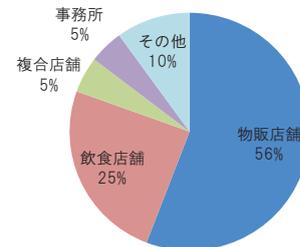
8) シンフォニー(不動産関連サービス)

事業用定期借地権を利用した建物賃貸借取引「シンフォニー」において、当社は大規模なショッピングモールや複合型商業施設を始め、物流施設やショールーム、飲食チェーン店など様々な建物を取組んでおります。テナント、デベロッパーの皆様にとっては、少額の初期投資でご希望の建物を機動的に展開でき、また、地主様にとっては土地の有効活用を図ることができます。

シンフォニーのスキーム



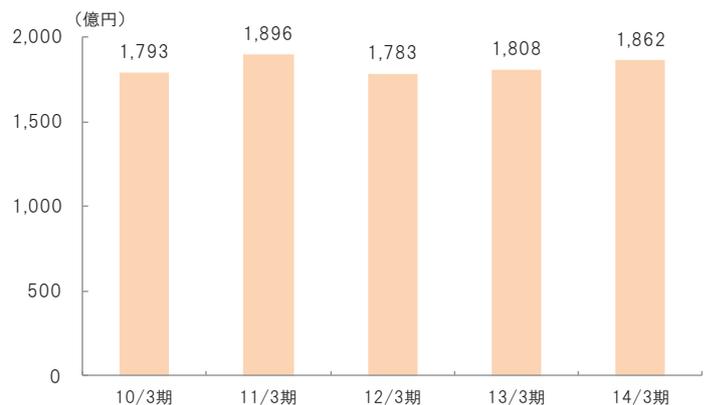
シンフォニーの物件タイプ別取組内訳(物件数ベース)



主な導入事例



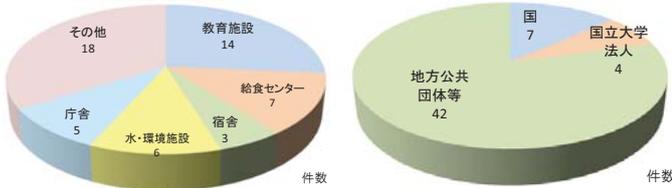
シンフォニーの残高推移



9) PFI事業

民間の資金・経営ノウハウを活用し、効率的・効果的な社会資本整備・公共サービスを実現するPFIにおいて、当社は単なるファイナンス機能の提供に留まらず、代表企業としてプロジェクト全体のマネジメントや出資を伴う事業参加も積極的に行っています。これまで当社は、累計で53件を受注し、うち15件は代表企業として取組んでおり、すべてのPFI事業者の中でもトップクラスの実績を誇っています。

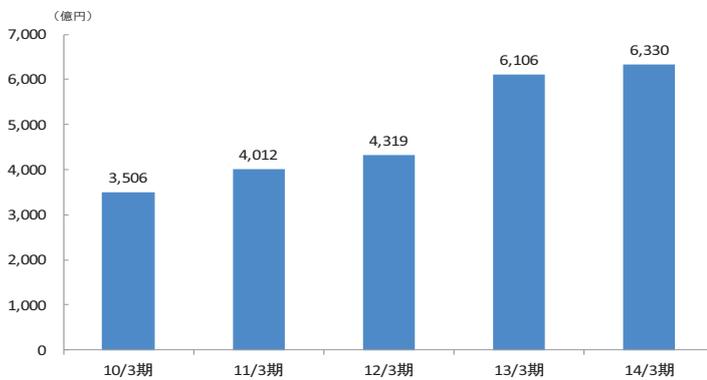
施設種類PFI事業内訳



教育施設

庁舎

PFI事業の取組実績(受注ベース、事業規模累計)



浄水場施設



給食センター



国公立大学

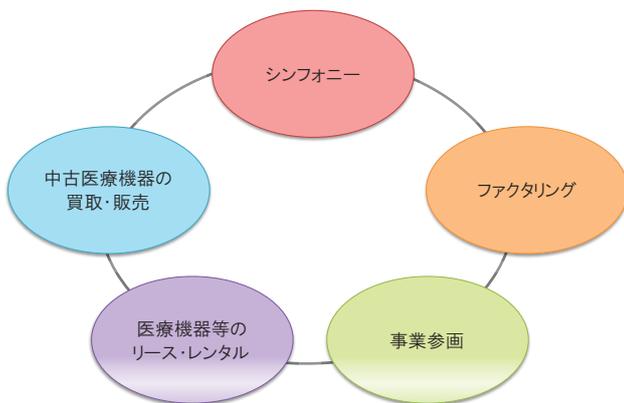


地球環境観測衛星

10) 医療・介護関連

病院・医院、介護施設等の開業支援から、高度医療機器導入、増改築時の設備や資金面までワンストップでサービスをご提供します。

医療・介護関連分野における主な機能提供



【TOPICS】 ミサワホームと介護施設の運営を手掛ける共同出資会社を設立

ミサワホームと介護施設の開発および運営などについて、共同で取り組むための業務提携を締結しました。高齢社会において今後ますます重要性が高まる介護サービスの充実に貢献してまいります。



介護施設(イメージ)

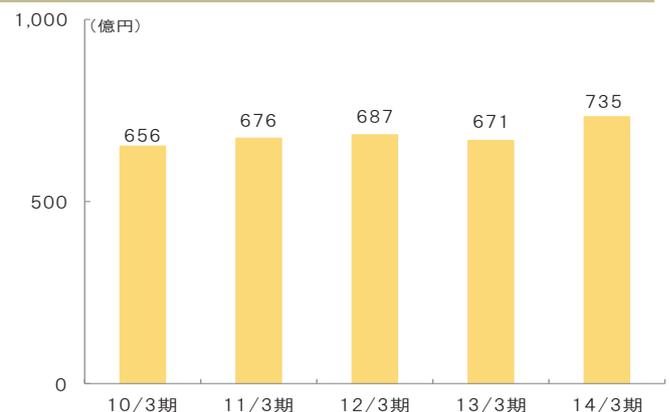
11) ファクタリング

小口大量債権の処理にも適応した専用システムを駆使して、主に売掛債権、診療報酬債権を対象に、お客様の資金ニーズに対応しています。お客様は債権を当社に譲渡することで、早期に資金化が可能です。また、ファクタリングを活用して資産のスリム化に繋げるなど、財務戦略にも広くご利用いただいております。

主なメリット

- ・早期資金化
- ・調達手段の多様化
- ・財務内容の改善(バランスシートのスリム化)

ファクタリング(期中平均)残高の推移



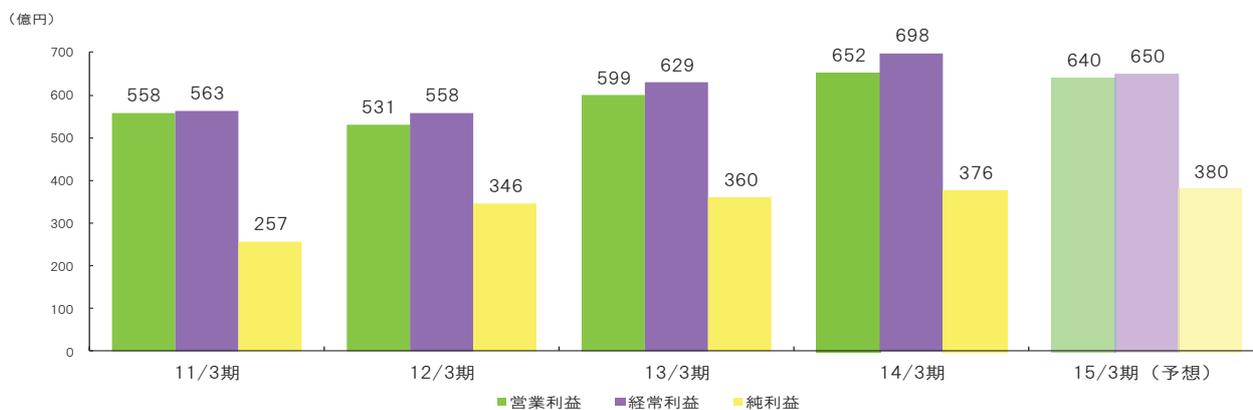
8. 2015年3月期業績予想

2015年3月期決算(予想)

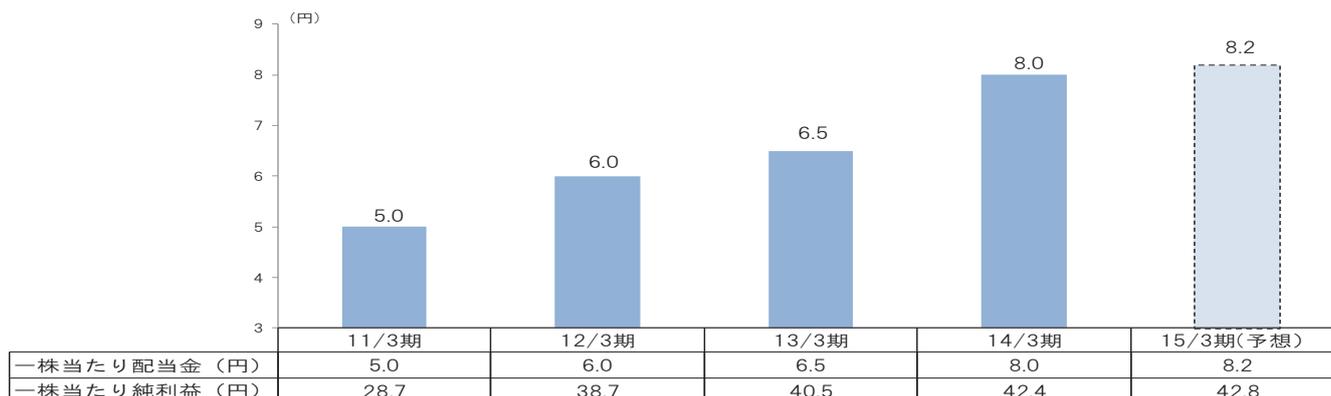
	連結	
	金額(億円)	前期比
売上高	7,400	+3.1%
売上総利益	1,300	+1.0%
営業利益	640	-2.0%
経常利益	650	-6.9%
純利益	380	+0.9%
一株当たり配当金	8円20銭	+20銭

上記数値は2014年5月14日時点での2015年3月期業績予想です。

連結業績の推移



配当推移



2013年4月1日を効力発生日として、株式1株につき10株の株式分割を実施しております。上記のグラフでは、株式分割以前の「一株当たり配当金」および「一株当たり純利益」についても、同様に株式分割があったものと見做して表記しております。

9. 中期経営計画 “Evolution(限りなき進化)”

1. 中期経営計画 “Evolution(限りなき進化)”の概要

成長戦略

- ・ ビジネスモデルの進化
- ・ 国際展開の加速化
- ・ グループシナジーの発揮
- ・ 新規事業の継続的創出
- ・ 外部成長戦略の推進

(重点分野)

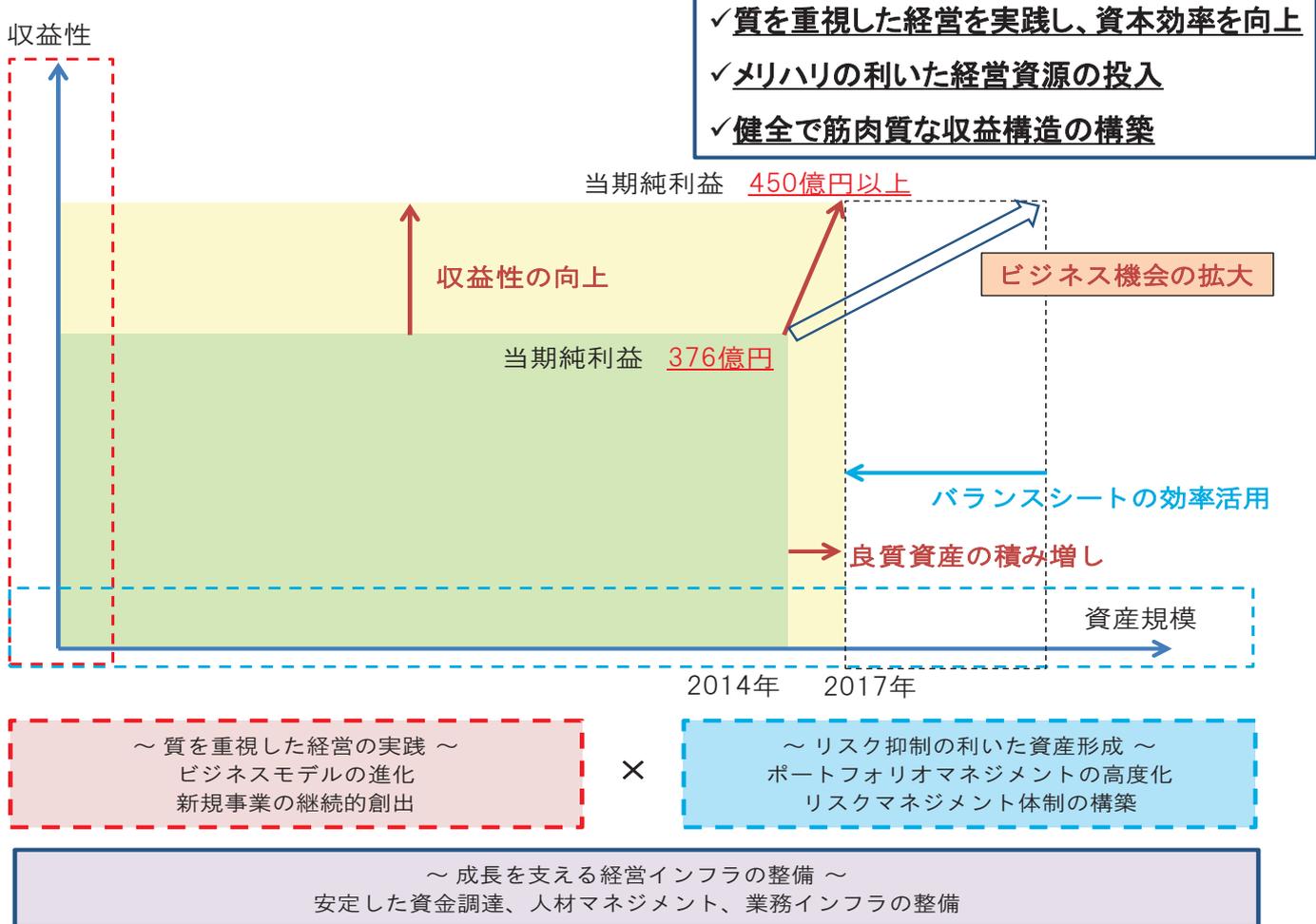
- ・ 国内カスタマー事業
- ・ 環境・エネルギー事業
- ・ 国際事業
- ・ グローバルアセット事業
- ・ 医療・介護事業
- ・ アセット関連サービス事業
- ・ 不動産事業

経営基盤強化戦略

- ・ 経営管理の高度化
- ・ グローバル化に対応した業務インフラの整備
- ・ グループマネジメントの深化
- ・ 人材マネジメントの強化
- ・ 自由闊達・活力ある企業風土の醸成
- ・ IT基盤強化と戦略的な活用
- ・ 揺るぎない信頼の維持

頼りがいのある事業パートナーとして持続的成長を目指す

2. 中期経営計画における収益・資産について



3. ビジネスモデルの進化

ノンバンクとして進化を遂げてきた当社グループならではの柔軟性と機動性を兼ね備えた付加価値サービスを融合。サプライチェーンの川上から川下に至るあらゆるビジネスシーンにおいて必要となる事業インフラ、機能を提供。

三菱UFJリースグループの事業領域



4. 国際展開の加速化

成長余地の大きい海外市場における事業を、国内で培ってきたノウハウやネットワークを駆使して積極的に展開。

■グローバルアセット事業

航空機、航空機エンジン、コンテナ、貨車など、汎用性・市場性の高いグローバルアセットの取り組みを推進。

■国際事業

日系企業の進出が著しいアジアを中心に、リレーションやアライアンス、グループネットワークを最大限活用し、提供機能を拡充しながら、事業の拡大と安定した収益基盤の構築を目指す。



(航空機)
汎用性の高いナローボディを中心に、良質な資産獲得を目指す。日本、米国、欧州の営業拠点を通じ、専門性とネットワークを駆使した機能提供を実施。



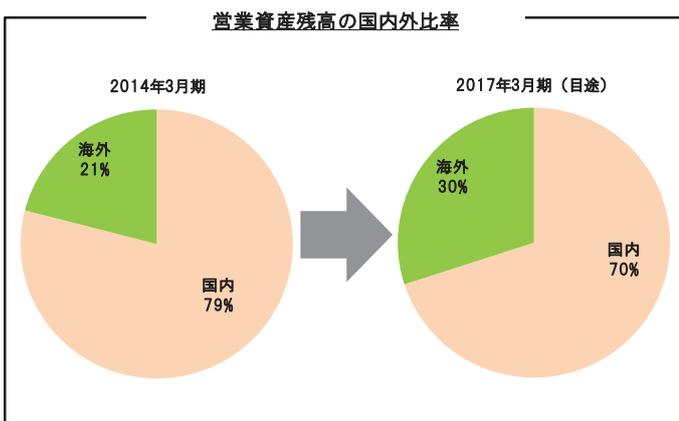
(船舶)
市場性や流通性に配慮し、資産価値とキャッシュフローに依拠したファイナンスサービスを提供。



(コンテナ・貨車)
航空機、船舶に次ぐグローバルアセットとして、航空機エンジン、コンテナ、貨車への取り組みを本格化。パートナーとのアライアンスを通じ確固とした営業基盤を形成。



(産業機械・建設機械・自動車他)
国内で培ってきた知見やリレーションを活用し、国ごとに異なる事業環境に適した日本と同質のサービスを提供。





Value Integrator